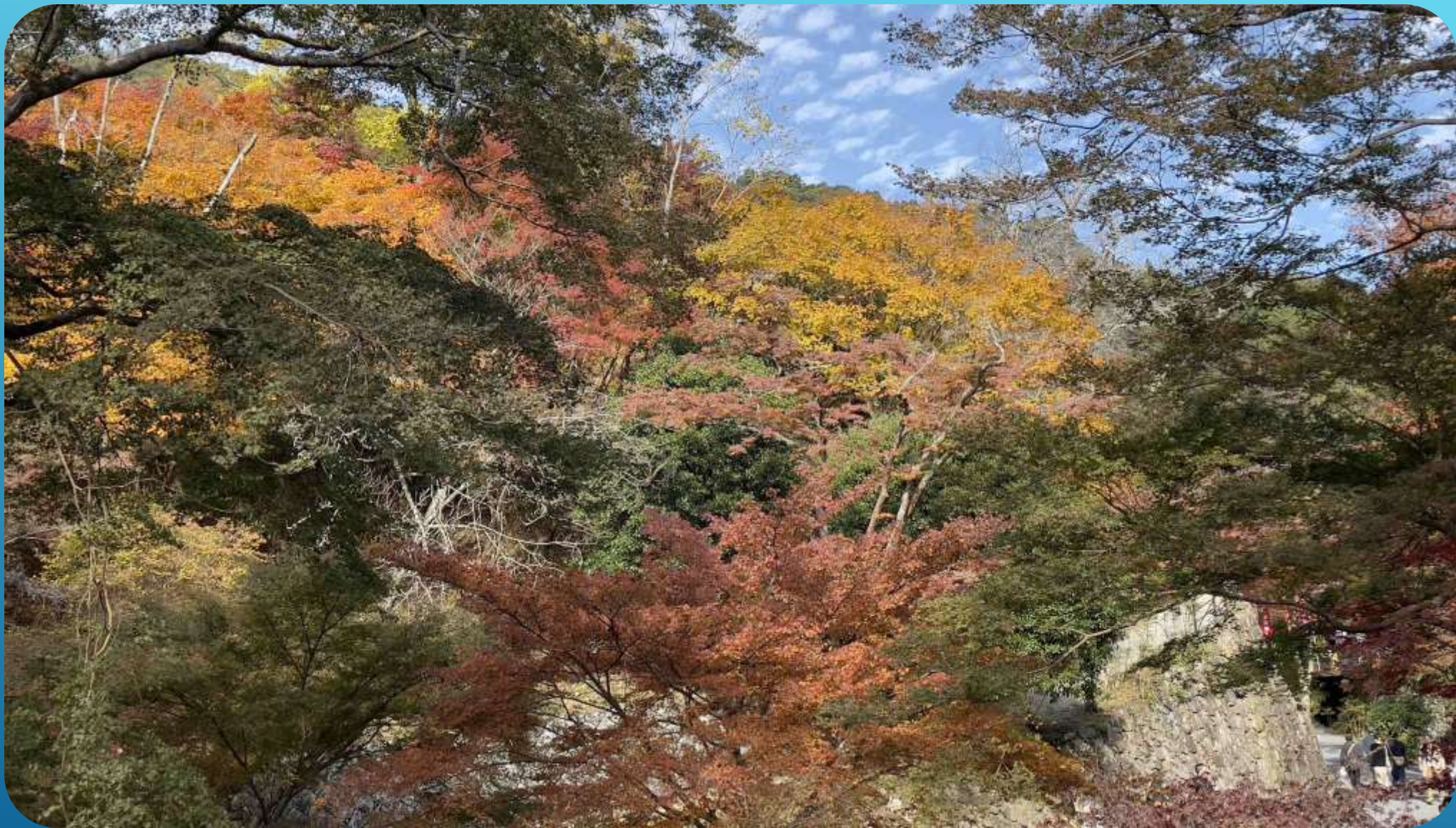


# 正暦寺・円照寺・奈良公園他

2023年

Photo by Kayoko





① 正曆寺 (1)





① 正曆寺 (2)





① 正暦寺 (3) 日本清酒発祥の地





① 正曆寺 (4)





① 正曆寺 (5)





① 正曆寺 (6)





① 正暦寺 (7) 瑠璃光台より





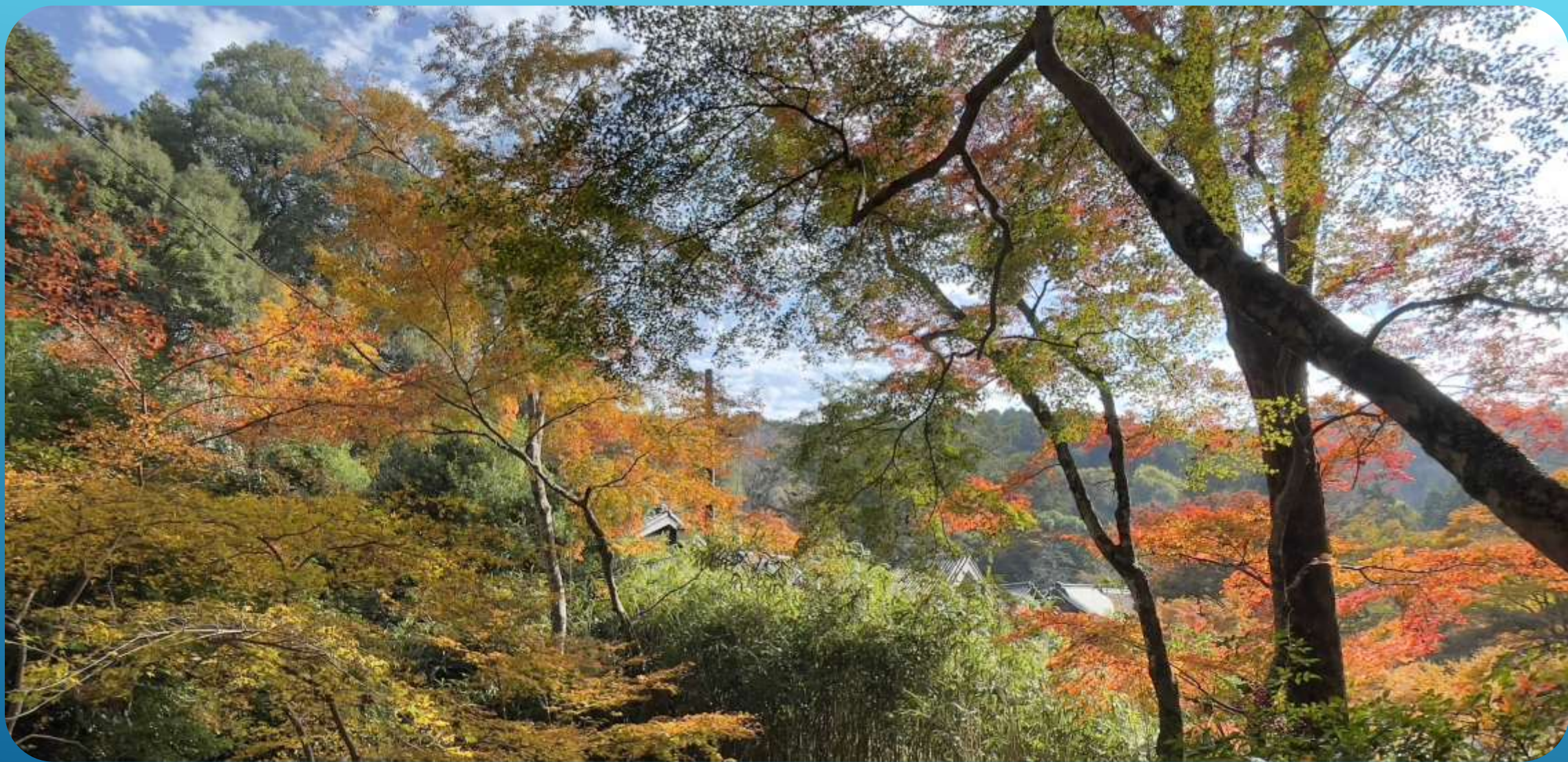
① 正曆寺 (9)鐘楼





① 正曆寺 (10)





① 正暦寺 (11) 龍神平より





② (1) 荻





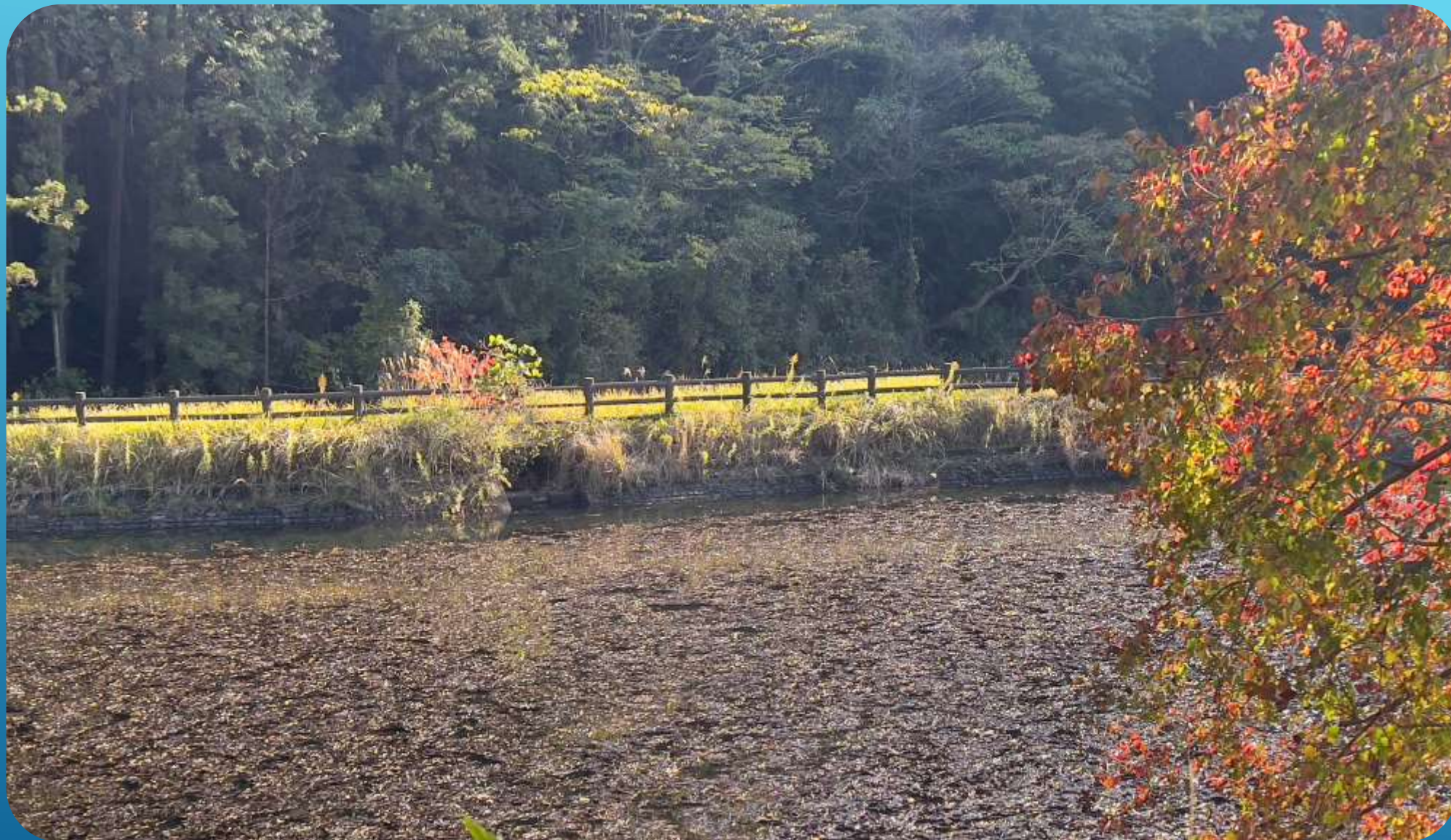
② (2) 荻と葦





② (3) 葦





② (4) ポプラ





② (5) 林（五つ塚古墳群）手前（薄）



奈良市指定文化財

## 五つ塚古墳群

古墳時代後期（六世紀後半～七世紀）

平成八年四月十一日指定

五つ塚古墳群は、その名のとおり五基からなる古墳群で、山すそに墳丘の後背部を掘削、盛土して造られています。

山側の一・三・五号墳が円墳、二・四号墳が方墳で、埋葬施設は、いずれも南に向かって開口する横穴式石室です。

築造時期は、石室形態などから円墳の一・三・五号墳が六世紀後半、方墳の二・四号墳がやや新しく七世紀に入って造られたと考えられます。

古墳時代後期の小古墳は、この周辺に数多く群集して造られており、五つ塚古墳群もこうした群集墳の支群のひとつと見られます。

奈良市教育委員会







② (7) アキアカネ



② (8) アキアカネ





② (9) 大川池古墳



あしひきのやまゆきしかはやまひとの  
われにえしめしやまことそいれ

太上天皇（元正天皇）御製



② (10) 大川池古墳



## 山村廃寺（ドドコ口廃寺）

東方約四百米

圓照寺裏山東方は、大小円墳などが散在している地域である。その中で墓山古墳と七つ塚の間に古くから古瓦片が散在していた。

ちようどドドコ口池の西に当たるところで、この廃寺もドドコ口廃寺と呼ばれている。

遺跡は、自然の地形を利用し不規則な方位で金堂・八角円堂・塔と考えられる遺構が残っている。いずれも礎石はほとんど抜き出されているが、その痕跡によって大体の規模が推定される。

最南部に金堂があり、その東北に配置された建物は、八角円堂と推定される。塔跡はその東にあり、周囲を瓦で化粧した基壇の一边は約八・四米でその中央に心礎と四天柱の抜き取り穴がある。

出土遺物は、この基壇の北辺から石製相輪や金銅風鐸二個、鐸舌と鈎金具が各一個出ている。出土瓦は複弁蓮華文の軒丸瓦や忍冬文の軒平瓦があつて、この寺の建立年代は奈良時代前期とみることができるといえる。

なお、この寺は、山村に住んでいた百濟からの渡来人・己知部氏の氏寺であつた可能性が高い。





② (12)左側（七ツ塚古墳群）





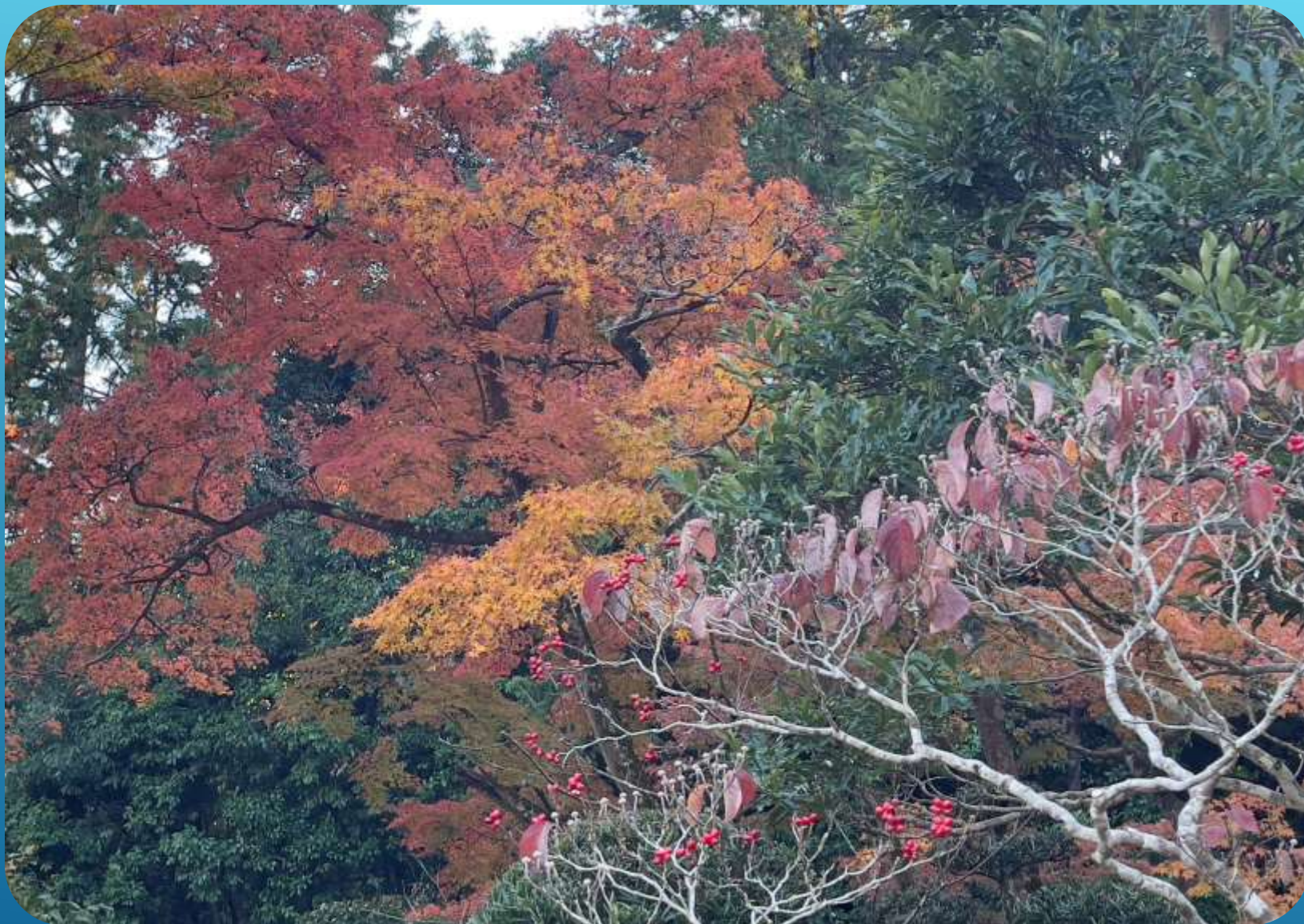
③ 円照寺 (1)





③ 円照寺 (2)





③ 円照寺 (3) (紅葉・ハナミズキ)





③ 円照寺 (4)





④ 山町（帯解狐塚古墳）

横穴式石室  
全長8m  
6世紀後半築造





④ 山町より若草山





⑤ 崇道天皇陵





⑥ 奈良公園 (1) 若草山





⑥ 奈良公園 (2)





⑥ 奈良公園 (3)





⑥ 奈良公園 (4) 東大寺





⑥ 奈良公園 (5) 南大門





⑥ 奈良公園 (6) 紅葉と月





⑥ 奈良公園 (7) 五重塔と月





⑥ 奈良公園 (8) 夕焼け





⑥ 奈良公園 (9) 夕日と南円堂